

北九州市水素供給拠点形成連絡会議の設置について（報告）

1 目的

次世代エネルギーの中でも、水素は究極のクリーンエネルギーとして、各方面で開発が進められている。

特に、自動車メーカーにおいては、次世代自動車の本命として、水素を燃料とする燃料電池自動車（FCV）の開発が進められている。これに併せ、国も燃料電池自動車に水素を供給する水素ステーションの先行整備を全国で100箇所程度を目標として行うこととしている。

本市では、「福岡水素エネルギー戦略会議」や「ふくおかFCVクラブ」といった産学官の取組みと連携しながら、販売開始が目前となっている燃料電池自動車（FCV）の普及の基盤となる水素ステーションの積極的な誘致に取り組んでいる。

そこで、地元産業界、学識経験者、国、県、市等で構成する「北九州市水素供給拠点形成連絡会議」を設置し、水素に関する情報共有、意見交換等を行うとともに、水素エネルギーの需要を喚起することで、水素の地産地消の可能性の検討し、普及拡大につなげることを目的とする。

2 活動内容

（1）情報共有

- ①水素ステーションの整備状況
- ②FCVの開発・販売動向
- ③FCV以外の用途の可能性（エネファーム等）

（2）需要動向調査

（3）研究プロジェクトの検討・構築

（4）インセンティブ等の検討

3 連絡会議構成団体

新日鐵住金(株)、九州電力(株)、西部ガス(株)、TOTO(株)、(株)安川電機、
岩谷産業(株)、JX日鉱日石エネルギー(株)ほか
学識経験者、国（九州経済産業局）、福岡県、北九州市

4 第1回連絡会議（予定）

（日時）平成26年11月14日（金） 14:00～15:30

（場所）ホテルクラウンパレス小倉

（内容）（1）情報共有

- ・水素社会実現に向けた国の取組み
- ・これまでの本市の取組み状況

（2）意見交換

※冒頭部分のみ公開